

船内での服装の目安

ドレスコード

決して堅苦しいものではなく、「ひとりひとりのお客様が、カジュアルな雰囲気のレストランでディナーを楽しむならリゾートカジュアルで、また、ちょっと気どってスペシャルティレストランを予約してのディナーやパーティではフォーマルに…その夜にふさわしいオシャレでクルーズの雰囲気を盛り上げる」という目的から生まれたルールです。

ドレスコードは、当日の船内新聞「フリースタイルデイリー」にてご案内いたします。フリースタイルデイリーについてはP.10をご参照ください。

リゾートカジュアル

男性： Tシャツ、ショートパンツ、サンダル、
ポロシャツ、
コットンパンツ・ジーンズなど
女性： Tシャツ、ショートパンツ、サンダル、
ジーンズ、ブラウス、スカートなど



インフォーマル/セミフォーマル

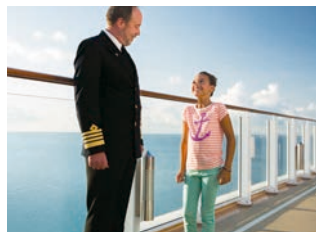
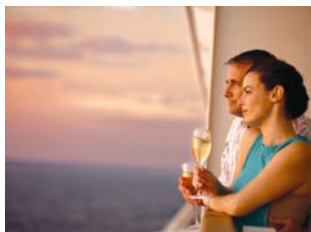
男性： スーツ、ジャケットなどの上着にネクタイ、アスコットタイなど
女性： ワンピース、ツーピースなど

日中は普段どおりのリゾートカジュアルで

日中（ご夕食まで）は、バケーションにふさわしい寛いだリゾートカジュアルな服装でお過ごしください。

夕食時からおやすみまでの時間はドレスコード（服装指定）をお守りください。

なお、洋上では陸上よりも気温が低いことがございますので、普段より1枚多めに上着などをお持ちになることをお勧めします。



お荷物チェックリスト

- 乗船券（団体旅行、パッケージ旅行の場合は事前に渡されない場合があります）
- 現金・クレジットカード（2種類以上）
- 海外旅行傷害保険証（加入された方のみ）
- パスポート・ビザ・航空券
- 日程表・オプションツアー申込書控など

上記の品は手荷物として、乗船当日にご持参ください。

※クレジットカードやパスポートは、あらかじめ番号や緊急時の連絡先をお控えいただくことと万一の紛失や盗難の際の再発行手続に便利です。パスポートは顔写真のページをコピーしてID（身分証明）として持参される事をお勧めします。

- 日中のカジュアルウェア、その他衣類、水着
- 靴※1（日中用・ドレスコード用・寄港地散歩用など）
- 上着（ジャケット・セーター・カーディガンなど）
- 寝まき※2
- 防寒具※3
- 靴下（ドレスコード用・日中用）
- 下着
- 帽子
- 小さなバッグ・風呂敷・小物入れなど
- 化粧品 電気カミソリ※5
- 常備薬※4 日焼け止め
- サングラス 双眼鏡
- 電卓 1泊分の荷物が入るバック
- 寄港地のガイドブック
- ビデオカメラ・カメラ※5
- 交換用の電池※6
- 雨具※7

- ※1 日中用の履き慣れた靴（下駄の着用はご遠慮ください）のほかに、夕食時以降のドレスコードに合わせた靴も忘れずにご用意ください。寄港地での観光の際には、スニーカーなどの動きやすい靴があると便利です。
- ※2 キャビンに浴衣等の寝まきは用意しておりませんので各自でお持ちください。
- ※3 寄港地によっては気温が低い地域もございます。特に冬はマフラーや手袋などの防寒アイテムを必ずご用意ください。また夏でも長袖のシャツやカーディガンなどの上着をお持ちになることをお勧めします。
- ※4 船内に診療室はございますが、服用中の薬や普段お使いになっている薬（風邪薬や胃腸薬など）がある場合は、お持ちいただくことをお勧めします。
- ※5 キャビンでは110ボルトおよび220ボルトの電源が使用できます。110ボルトの電源では日本の二股コンセントのまま使用できますが、ビデオカメラなど精密機械をご利用の際は変圧器をご利用されることをお勧めします。
- ※6 特殊な電池は船内では販売しておりません。寄港地でも入手が難しい場合がございますので、事前にご用意ください。
- ※7 悪天候に備えた雨具を各自お持ちください。船内には貸出用の傘やレインコートなどはご用意しておりません。